

## 日本共産党市議団の一般質問

### 補聴器購入費補助、町田市でも!



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、高齢者への補聴器購入費補助制度の創設を求め質問。地域福祉部長は、「都の補助制度を活用しても多額の市財政が必要。他事業とのバランスや事業効果を検討するため、現時点では創設の考えはない」とし、高齢者への簡単なヒアリングチェックすらやる気のない答弁に終始。「玉ちゃんバス南ルート」の大幅減便については、都市づくり部長が「利用者数の回復状況を見ながら3者協議会で検討していく。地域の声をききながらバス以外の移動手法の可能性を含め研究していく」と答えました。

### コロナから市民を守る保健所体制を



細野りょう子市議

細野りょう子市議は新型コロナから市民の命を守る市政を求めて質問。子どもを預かる保育園や学校で働く職員に対し、定期的なPCR検査を実施すること、自主的に登園を控える子どもへの日割り保育料の返還を求めました。コロナ感染拡大第5波の保健所の対応については、感染者が急増して電話での対応がリスクのある高齢者に限定したこと、ショートメールでの対応に切り替えたことが明らかになりました。保健所にも医療にもつながらない陽性者がいたことや、急変しても相談できない状況があったことを指摘し、保健所の職員体制の拡充を求めました。

### 小山、小山ヶ丘地域に図書館を



田中美穂市議

田中美穂市議は、東京都で今秋開始される予定の「パートナーシップ宣誓制度」について市としての対応を準備すること、また、町田市としてもパートナーシップ制度を実施することを求めました。市は、都や他の自治体の情報を収集する、市の制度については研究していくと答弁。小山・小山ヶ丘に図書館の設置を求めた質問に対して、生涯学習部長は、検討していないという答弁。「商業施設や住宅が増えているのに、図書館がない地域だというのが残念」と地域の声を紹介し、図書館空白地域の解消を求めました。

### 学校統廃合やめ、教育充実と避難所確保を



殿村健一市議

殿村健一市議は、3分の1の学校をなくす学校統廃合計画はやめよ。町田木曽団地周辺から小中学校が1校もなくなることは許されないと質問。担当部長は、老朽化を理由に統廃合は必要だと答弁。原町田大通りにパークレットを設置する社会実験に周辺ビル関係者から出ている要望に応えよと質問。担当部長は、解決が必要な課題だと答えました。多摩都市モノレール延伸事業(16km)については、採算の見通しが示されていない問題を指摘し、BRT(連接バス)に切り替えをと質問しました。

### 町田市への児童相談所の誘致は最重点課題

田中美穂市議は、町田市を含む人口120万人を管轄している八王子児童相談所は、保護者が相談に行くのにも遠くて大変という声が寄せられている。町田市に児童相談所が早期に必要なだと質問しました。石阪市長は、都立児童相談所の町田への誘致を最重点課題として取り組む、と答えました。市議会では、昨年の12月議会で「東京都に対して、町田市に児童相談所の早期設置を求める意見書」を、



全会一致であげています。市議団としても今年1月に東京都に対して、池川友一都議と要請を行いました。

### コロナ禍に国保税 6年連続値上げに

一人平均 4千円/年↑



石阪市長は、2022年度の国民健康保険税を6年連続で値上げする条例改正案を提出しました。コロナ禍で国保加入者のくらしは困窮を極め、多摩26市中21市が昨年度、保険税(料)を据え置いています。けれども町田市は「国保財政の安定化」を理由に、10年間で赤字繰り入れをゼロにする「計画」ありきで、市民生活の実態から目を背けています。日本共産党市議団は、市民から提出された「国保税の値上げを行わないことを求める請願」に賛成、値上げの条例に反対の立場で討論しましたが一人平均約4千円/年、4%値上げの条例は、共産党をのぞく賛成多数で可決されました。



### 無料法律相談

どうぞお気軽に

5月25日(水)

6月8日(水)・22日(水)

毎月第2、第4水曜日 午後2時～5時

要予約 ☎042-723-6312まで

※場所が変更になる場合がありますので、必ずご予約ください。

町田市役所3階 共産党会派室

生活相談はいつでもお受けします  
724-4030 日本共産党会派室